

令和7年度 京丹後市立弥栄病院「医師等労働時間短縮計画」

計画期間

令和7年4月～令和8年3月末

対象医師

内科医師 (5名)

外科医師 (1名)

総合診療科医師 (1名)

産婦人科医師 (3名)

眼科医師 (1名)

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

(1) 労働時間数

内科医師（5名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	500 時間 00 分	480 時間 00 分	470 時間 00 分
最長	897 時 36 分	840 時間 00 分	780 時間 00 分
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%

外科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	400 時間 00 分	250 時間 00 分	200 時間 00 分
最長	611 時間 25 分	250 時間 00 分	200 時間 00 分
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%

総合診療科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	968 時間 13 分	924 時間 00 分	876 時間 00 分
最長	968 時間 13 分	924 時間 00 分	876 時間 00 分
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人・100.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%

産婦人科医師（３名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	267 時間 06 分	255 時間 00 分	240 時間 00 分
最長	748 時間 03 分	700 時間 00 分	650 時間 00 分
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%

眼科医師（１名）

年間の時間外・休日労働時間数	前年度実績	当年度目標	計画期間終了 年度の目標
平均	1,157 時間 40 分	940 時間 00 分	840 時間 00 分
最長	1,157 時間 40 分	940 時間 00 分	840 時間 00 分
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	1 人・100%	0 人・0.0%	0 人・0.0%
1,860 時間超の人数・割合	0 人・0.0%	0 人・0.0%	0 人・0.0%

（２）労務管理・健康管理**【労働時間管理方法】**

前年度の取組実績	・電子カルテ更新時に勤怠管理システムを導入 ・タイムカードによる正確な労働時間の把握
当年度の取組目標	・勤怠管理システムの適正運用、正確な労働時間数の把握
計画期間中の取組目標	・引き続き上記事項に取り組む

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

前年度の取組実績	・宿直許可及び日直許可に基づく適正な時間外勤務時間管理
当年度の取組目標	・引き続き上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

-1-

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

前年度の取組実績	・労働と自己研鑽の扱いと線引きを明示し、運用について各医師に周知
当年度の取組目標	・引き続き上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

【労使の話し合い、36 協定の締結】

前年度の取組実績	・労働者の過半数で組織する労働組合と協議・締結し、届け出た 36 協定を医局内に掲示
当年度の取組目標	・引き続き上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実技体制】

前年度の取組実績	・健康診断実施率 100%の達成 ・長時間労働医師が産業医に相談可能な体制の構築 ・労働安全衛生委員会の定期開催
当年度の取組目標	・引き続き上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

【追加的健康確保措置の実施】

当年度に向けた準備	・対象医師への面接指導の実施に努め、引き続き対象医師への面接指導を実施する
当年度の取組目標	・引き続き上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

（３）意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

取組実績	・各医師に働き方改革制度について説明、意識啓発を促進
取組目標	・国の実施する病院長向け研修会に病院長が参加する。

（４）策定プロセス

各職種（医師、看護師、薬剤師、技術部、事務等）から各代表が参画する労働安全衛生委員会において本計画の検討を行い策定した。策定後には当該計画を医局のほか院内に掲示し、当院ホームページでも公開している。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（１）タスク・シフト／シェア

【看護師】

取組実績	・注射、採血、静脈路の確保等 ・診察前の情報収集（医師が診察する前に定型の問診表等を用いて患者の病歴や症状などを聴取） ・日常的検査に関する定型的な説明、同意書の受領 ・入院時オリエンテーションの実施
取組目標	・引き続き上記事項に取り組む

【助産師】

取組実績	・助産師外来及び母乳外来の実施
取組目標	・上記事項の拡大・充実に努める

【薬剤師】

取 組 実 績	・ 持参薬処方の代行 ・ 病棟等における薬剤管理指導業務等の拡充 ・ 抗がん剤レジメンの提供 ・ 周術期の薬学的管理等 ・ 薬物療法に関する説明等 ・ 医師への処方提案等の処方支援
取 組 目 標	・ 引き続き上記事項に取り組む

【診療放射線技師】

取 組 実 績	・ 撮影部位の確認、検査オーダーの代行入力等 ・ 放射線検査等に関する説明 ・ 放射線管理区域での患者誘導
取 組 目 標	・ 引き続き上記事項に取り組む

【臨床検査技師】

取 組 実 績	・ 超音波検査等の検査所見の記載
取 組 目 標	・ 引き続き上記事項に取り組む

【臨床工学技師】

取 組 実 績	・ 透析業務における表在化動脈、静脈への穿刺 ・ 静脈路の確保、接続、抜針、止血や輸液ポンプ・シリンジポンプの操作（手術室・集中治療室に限る） ・ 麻酔器補助業務 ・ 透析シャント血管エコー管理
取 組 目 標	・ 引き続き上記事項に取り組む

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

取 組 実 績	・ リハビリテーションに関する各種書類記載、説明、書類交付
取 組 目 標	・ 引き続き上記事項に取り組む

【医師事務作業補助者】

取 組 実 績	・ 医師事務作業補助者 13 人体制で医師の具体的指示の下、診療録等の代行入力を実施 ・ 各種書類の記載
取 組 目 標	・ 引き続き上記事項に取り組む

(2) 医師の業務の見直し

【日当直の体制や分担の見直し】

取 組 実 績	・ 土日祝日の日当直に関しては内科系、外科系の 2 人体制とし、日当直しない診療科はオンコール体制とする。 ・ 研修医の学習環境の向上
取 組 目 標	・ カンファレンスの勤務時間内実施や所要時間の短縮 ・ 病状説明の勤務時間内実施と患者、家族への周知徹底 ・ クリティカルパスの作成等による業務の標準化

(3) その他の勤務環境改善

【I C Tその他の設備投資】

取 組 実 績	・ 電子カルテ更新時に勤怠管理システムを導入
取 組 目 標	・ X線読影 A I システムの導入 ・ カルテの一部を自動作成する音声入力システムの導入 ・ スマートフォン等からの電子カルテ閲覧及び入力システムの導入

【子育て世代の医師が働きやすい環境を整備】

取 組 実 績	・ 子育て世代の医師が働きやすい環境整備を推進（宿日直免除、院内保育所の活用等）
取 組 目 標	・ 引き続き上記事項に取り組む

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

【副業先・兼業先との勤務シフトの調整】

取 組 実 績	特になし
取 組 目 標	特になし